

わがやの アイドル



菅原 碧一ちゃん(7か月)
(菖蒲町台)
はじめてのブーブ

愛の泉

～善意をありがとうございます～

- ★久喜市のために
川口信用金庫さん 千支置物
- ★保健福祉のために
影近 正雄さん 金100,000円
株向山工場さん 金1,000,000円
- ★(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園のために
内田 義一さん 金300,000円
- ★地域での健康増進・レクリエーション活動のために
三輪 敏子さん 卓球台1台
- ★スポーツの振興のために
久喜市ソフトボール協会旧久喜支部さん 金52,000円



障がいのある人の人権 共生社会の実現に向けて

障がいは、先天的なもののほか、事故や病気で生じたもの、加齢に伴うものなど、発生する時期はさまざまです。障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認めあいながら共に生きる社会をつくることを目的に、国は、「障害者差別解消法」を平成28年4月に施行しました。法律ができてからまもなく2年が経過しますが、まだまだ多くの方に認知されていないのが現状です。この法律では、行政機関やお店などの事業者が、障がいのある方に対して、「不当な差別的取扱い」をしてはならないことや、障がいのある方が困らないように「合理的配慮」(事業者は対応に努めること)をすることになって

います。

「不当な差別的取扱い」とは、例えば、「障がいがある」という理由だけでアパートへの入居を断ることや、店舗への入店を断るなどが上げられます。

「合理的な配慮」とは、例えば、聴覚障がいの方には、声だけではなく筆談で対応する、視覚障がいの方には、文書だけではなく声に出して読み上げるなど、障がいのある方が困っている時に、その人の障がいに合った必要な工夫を考えて対応することなどです。

誰もが支えあい共生できる社会を実現するためには、行政機関や事業者はもとより、一人ひとりが、障がいのある人の立場になって考え、行動することが大切ではないでしょうか。

問合せ 教育委員会生涯学習課人権教育係 (内線372)

久喜市中学生サミット (連載第1回)

第4回「久喜市中学生サミット」を開催しました

久喜市内の中学校代表生徒が一堂に会し、各学校が目指す「理想の学校」について発表し合い、『共同宣言』にまとめました。それを受けて各学校が取り組んだ内容を紹介しします。

問合せ 教育委員会指導課指導係 (内線347)

久喜中学校

久喜中学校で

は、生徒会朝会で全校生徒に第4回中学生サミットの報告をしました。報告の中で、3つの宣言を伝え、改めて本校生徒会のテーマである「あたりまえ」を発展させていくことにしました。(あ: 明るい挨拶、た: 楽しい行事、り: クリーンな校舎、ま: 守ろう規則、え: 笑顔あふれる久喜中学校) 10月にはテーマの「た」(楽しい行事)に関わる「ポプラ祭」を生徒主体で成功させることが出来ました。中学生サミットをきっかけとして、より良い学校にするために新生徒会でも、意見箱の導入や、挨拶の質を高める挨拶週間を設ける予定です。



第4回久喜市中学生サミット共同宣言

私たちは、久喜市の理想の中学校にするために次のことを行うことを誓います。

1 心のこもった「愛」さつ」ができる学校

- ①態度で伝わるあいさつをします
- ②どんな人にも自分からあいさつをします
- ③自分がされてうれしいあいさつをします

2 いろいろな世代との交流を深め、自発的に地域に貢献できる学校

- ①小学校や幼稚園・保育園との関わりを大切にします
- ②地域の人との交流会などを計画し、積極的に実施します
- ③自発的に地域へのボランティアに参加します

3 思いやりをもってお互いの意見を尊重する学校

- ①互いの長所を知り、一人ひとりの意見を尊重します
- ②思いやりのある前向きな言葉であふれた学校にします
- ③いじめゼロの取組を継続します

以上、3点の実行に力を注ぎ、私たちが理想とする中学校を創るために、生徒会が中心となり、生徒自らが考え、行動することを誓います。

平成29年8月21日 久喜市全中学校生徒会代表一同